

SR-Σ_{シグマ}

音場再生パノラミックサウンドイヤースピーカー

このたびは、STAXのパノラミックサウンドイヤースピーカーSR-Σ(シグマ)をお買い上げいただきましてありがとうございました。優れた性能を十分生かしていただくために、この使用説明書をよくお読みの上、末永いご愛用をお願い申し上げます。

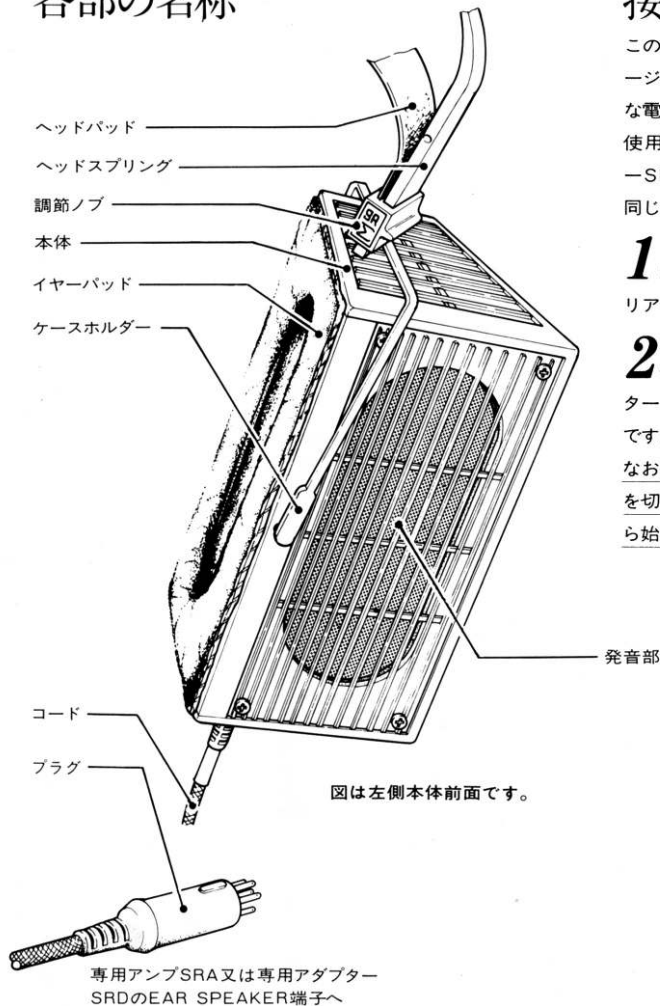
※このSR-Σは、これまでのイヤースピーカーSRシリーズをお使いの方はほとんど同じ使い方で聴きになれますが初めての方は「接続と使用方法」を必ずお読みください。

SR-ΣはクオリティではSR-X/Mk3、SR-5などでまさに最高レベルに到達していたと言える従来のイヤースピーカーにさらに全く新しい効果を創成したパノラミックサウンドイヤースピーカーです。

ヘッドホンが高いクオリティを獲得しうる要素として①リスニングルームの音響条件に左右されない。②発音ユニットの空気負荷が非常に少なく振動系の軽量化が可能となり、トランジェント特性を向上できる。③ラウドスピーカーを使用する際に起こるプレイヤーへのハウリングが全くない。④耳にほとんど直接、音が入るためにどんなに微細な音あるいはノイズも聴きとることができる一などがあり、それによりレコーディングやレコードの検聴、モニター用として広く使用されてきました。しかし、心地良く音楽を楽しむという面からは①音が頭の中で鳴る。②外耳への圧迫感により疲れやすいなどの問題も指摘されておりました。これは一つには従来のヘッドホンの形状がモルルス信号等の聴取用として開発発展したものであり、そのため発音ユニットが耳の非常に近い場所に置かれたままの形状で音楽鑑賞用に流用したということによるものでもありました。本機SR-Σは音楽鑑賞を第一目的とするという明確な観念に立ち、人間の耳の形状を自然のままに生かした音場再生イヤースピーカーです。

さらにテレビなどの場合モノラルソースとして例えば語学の勉強にこのSR-Σがどれ程役立つものか、ぜひ一度お試しください。その他こういう聴き方をしたら良かったという事例がありましたらぜひお聞かせくださるようお願いいたします。

各部の名称



接続と使用方法

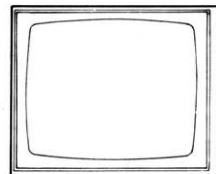
このSR-Σは従来のヘッドホンの音像イメージを格段と広げる効果を持ちますが、特殊な電気回路等を用いるものではありません。使用法はこれまでのSTAXイヤースピーカーSR-1、SR-3、SR-5、SR-X/Mk3等と全く同じです。二通りの使用方法があります。

1 SRシリーズ用A級パワーアンプ内蔵のプリアンプSRA-12Sを使用する方法。

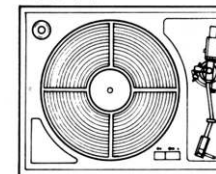
2 一般のステレオアンプを使用し、アダプターSRD-6、SRD-7等を通して鳴らす方法です。

なお、各機器を接続、結線する際は必ず電源を切り、アンプのボリュームは最小に絞ってから始めてください。

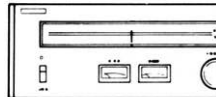
▼テレビ



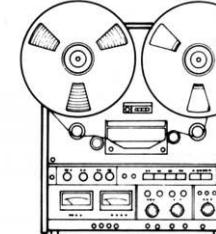
▼プレイヤー



▼チューナー



▼テーブデッキ



▼カセットデッキ

